

## 記 録 簿

件 名	令和7年度第1回牧之原市地域公共交通会議
日 時	令和7年7月9日（水）午前10時～正午
会 場	榛原庁舎4階会議室1～4
出 席 者	別紙出席者名簿のとおり
<b>協 議 内 容</b>	
1	開会
2	<p>挨拶（副市長）</p> <p>毎年実施している市民意識調査でも公共交通は必ず話題に上る。自動運転やライドシェアがあるが、新しいものを上手く活用して公共交通を維持可能にしていくことが重要。</p> <p>令和5年から始まった「牧之原市公共交通計画」に基づき、デマンド乗合タクシーの全域導入、高校生の通学定期券購入費補助金の開始、矢崎ものづくりセンターと連携した菊川行き市民送迎バスの運行など、新たな事業にも取り組んできた。</p> <p>牧之原市第3次総合計画でも、榛原・相良両市街地と高台開発エリアを結ぶ富士山型ネットワークの推進を位置付けており、総合計画の推進における公共交通の重要性は大きい。</p> <p>総合計画と公共交通計画の両輪でまちづくりを進めていく。</p>
3	<p>委員委嘱</p> <p>(1) 牧之原市地域公共交通会議について……資料1</p> <p style="text-align: right;">【事務局 説明】</p>
4	<p>会長、副会長、座長の選出</p> <p>会 長：大石牧之原市副市長 副会長：大崎地区長会長 座 長：豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 松尾准教授</p> <p>松尾座長の自己紹介・研究紹介 タイトル：地域公共交通に対する考え方……資料2</p> <p style="text-align: right;">【座長 説明】</p>
5	<p>高台整備事業、公共交通についての説明</p> <p>委員24名中21名の出席により会議成立</p> <p>(1) 相良牧之原 IC 高台整備事業についての説明……資料3</p> <p style="text-align: right;">【新拠点整備室 説明】</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>委員：住宅用地は、新たに土地を買いいたいという人でも購入可能なのか。</p> <p>専門監：区画数だと50区画程度できる予定。個人所有の土地もあるので、その人の利用方法にもよる。</p> <p>座長：商業施設はどのようなイメージか。</p> <p>専門官：大規模な商業施設の誘致を進めている。</p> <p>(2) 牧之原市の公共交通について……資料4</p> <p style="text-align: right;">【事務局 説明】</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>委員：さがらにし・ひがし号としずなみ・かわさき、ほそえ号の登録率が低いため、宣</p>

伝をしてほしい。また、実利用者数は同じ人が何度も使用しており、さかべが回数を重ねている印象。乗合率が2.1で高いので良いと思うが。登録数に対して実利用者数が少ないので、実際はどこの号が最も利用しているのかを一覧表にしてほしい。

座長：回覧板で周知するのは大事。デマンドなどの規模が大きい公共交通についてはいかにして伝えるか。民生委員の方に知ってもらうなど。

また、デマンド利用者同士でこういう移動をしたら良かったなどを共有できる場があると良い。

委員：デマンドを利用する人が高齢者であるため、制度の理解が難しいという人が多い。予約時間などについては最近慣れてきたように思うが、どこに迎えに行けば良いのか特定が難しい人もいる。

吉田町は誰でも乗れるぎゅっとカーを試験運行しているが、指定停車ポイントから少し先まで運んでほしいなどの無理なお願いがある。利用者で知り合いの人がいたら約束を守って利用することを伝えていただくと助かる。

座長：新しい仕組みの公共交通のアイデアが出るが、対応するのは事業者。複雑であればあるほど負担が大きくなる。乗り方セミナーを地区で開催するなど大事。使う人が増えていくと徐々に使い方も広がってくると思う。

### (3) 交通事業者から現状についての報告…資料なし

【しずてつジャストライン(株) 説明】

【御前崎タクシー(株) 説明】

【東海タクシー(株) 説明】

### (4) 牧之原市地域公共交通計画について……資料5

### (5) 牧之原市地域公共交通計画の取組事業の方向性と課題について……資料6

### (6) 牧之原市の交通空白リストアップについて……資料7

【事務局 説明】

#### <質疑応答>

委員：高齢者が多い。い～らに行きたくても徒歩では30分くらいかかってしまうため、誰かに乗せていってもらわないといけない。デマンドは運行日が決められていることもあり、普段フラッと行きたいときは困ってしまう。普通のバスが午前午後1回ずつでも停まったら嬉しい。

事務局：相良御前崎、相良浜岡線については、将来的に150号線からい～らやガスワンまきのはらに接続する道路ができる予定なので、自主運行バスの経路の変更を進めていきたいと考えている。

デマンドは土日に運行していないので、イベントがある時に行けない。平日はプラスで配車をするのが難しいが、土日にも運行日を設定したら平日の混雑が解消されるかなども検証していきたい。

## 6 牧之原市公共交通計画内の個別事業についての報告

### (1) 矢崎アローラインの概要について……資料8

### (2) 令和7年度路線バス通学定期券購入費補助金について……資料9

【事務局 説明】

#### <質疑応答>

委員：牧之原市32名という実績だが、補助金を増やせばより利用してくれるのではないかと。どこから市内高校に通っているのかを調査してほしい。また、全校生徒に対して何パーセントが補助を受けているのかも知りたい。市内2校の県立高校の存続にも関わるので、市内高校通学者の補助を増額してほしい。

事務局：次回の会議で数字についてはお示しする。補助額増加は市外の高校に通学している世帯への影響もあるので、慎重に考えたい。生徒確保につながるよう姿勢を示していく。

## 名鉄観光による「共創モデル実証運行事業」への申請について

【事務局 説明】

名鉄観光の地域振興事業の一環として、「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「共創モデル実証運行事業」に申請を行い、「道の駅そらっと」「富士山静岡空港」「なぶら市場」を周遊する巡回バスの実証運行を実施予定。採択された場合は次回の会議で詳細内容も含めて事業者からの説明を行う。

(質疑なし)

## 7 その他

ハッピーライド事業について……資料 10

(質疑なし)

【静岡県交通基盤部都市局 地域交通課 説明】

## 8 閉会